

◆北名古屋市歴史民俗資料館「昭和日常博物館」

「昭和 100 年」関連施策実地レポート

このコーナーでは、内閣官房「昭和 100 年」関連施策推進室の室員が、各地で開催されている関連施策を訪問し、感想を含め皆様へご紹介します。

今回の訪問先は、北名古屋市歴史民俗資料館「昭和日常博物館」です。

【企画展】はじまりのアデリア図鑑 ～昭和デザイン・モノトーンからカラフルへ～

URL：[北名古屋市歴史民俗資料館「昭和日常博物館」 | 北名古屋市公式ウェブサイト](#)

北名古屋市歴史民俗資料館「昭和日常博物館」（愛知県北名古屋市熊之庄御榊 53）は、昭和時代の暮らしの移り変わりを伝えることをテーマに展示、収集活動を行う博物館で、そのユニークな取組から「昭和日常博物館」という愛称で親しまれています。



常設展示のほかに年 3 回ほどの企画展を行っており、3 月 14 日より開催している「はじまりのアデリア図鑑 ～昭和デザイン・モノトーンからカラフルへ～」を見学してきました。

常設展示では、タバコ屋や理容室、靴屋など、当時の店頭を、実際に使われていたもので再現しています。3 階でエレベーターから降りた途端に目の前に広がる昭和の風景に郷愁を刺激されます。



◆北名古屋市歴史民俗資料館「昭和日常博物館」

ショーケースの中には、昭和の生活を彩った食器や雑貨、昭和の偉大な発明であるインスタント食品などが展示されています。



企画展では、昭和36年（1961年）に誕生したブランドである「アデリア」のグラスを年ごとのカタログをもとに展示し、流行の変遷を追っており、「暮らしと商業・工業デザイン」を考える機会とすることを考えている、とのことでした。

初期のデザインはほとんどが無色や青、紫などのモノトーンでしたが、時代が進むにつれ、使われる色の多彩化、花柄に代表されるプリントデザインの多様化など、カラフルなものになっていきます。



◆北名古屋市歴史民俗資料館「昭和日常博物館」

常設展示では、電化製品に代表される新しい生活様式が取り入れられた昭和 30 年代の暮らしの情景と昭和戦前期の日本の伝統的な暮らしの情景とを対比しながら見学できるような展示も組まれており、昭和を通じて大きく変わっていった人々の暮らしの情景を視覚的に体感することができました。



地下の駐車場には、昭和を彩った自動車などの展示スペースもあります。



職員の方にお話もお伺いしました。

平成の初めに昭和の日常を伝えるものの収集・展示をメインにしようと方向転換した際には、そのようなコンセプトのものは全国でも珍しく、全国の方々から家庭に残された昭和の貴重な資料を贈ってもらうことができ、おかげさまで、所蔵する資料は大小様々なものを含め、16万点を超えている、とのことでした。収集された膨大な資料は、その都度、丁寧に分類・保存し、年3回の企画展に結び付けてきたそうです。

◆北名古屋市歴史民俗資料館「昭和日常博物館」

懐かしい道具や情景の展示が来館者の記憶を刺激し、回想を促す空間となっていることから、高齢者ケア、認知症ケアの分野で注目される「回想法」という手法を用いて、市の福祉部門と連携して、「地域回想法」にもいち早く取り組んでいる、とのこと。

その一方で、近年は若い世代の方が来館者の2～3割を占めるようになってきているとのこと、昭和を知らない世代でも、昭和を学び、楽しむ若者がいることを実感しました。

実際に昭和の日常生活を彩った数々の資料で構成された空間は、昭和という時代を通じて変化していった人々の生活を実感するには非常にいい機会であり、これからも様々な企画展を予定しているとのこと。今後も様々な角度から昭和を振り返り、世代を超えて昭和の記憶を継承していくことができそうで、楽しみです。

【企画展】 はじまりのアデリア図鑑 ～昭和デザイン・モノトーンからカラフルへ～の
会期は5月31日まで。

会期：令和8年3月14日（土）～令和8年5月31日（日）

主催：北名古屋市歴史民俗資料館

住所：愛知県北名古屋市熊之庄御榎53